

## 第7回地域包括ケア応援セミナーを開催します

テーマ:「大規模集合住宅における地域包括ケアの推進について(第2弾)」  
～幸手団地に学ぶ「住民によるソーシャルワーク」～

### セミナーのねらい

- 首都圏近郊には、高度経済成長期に開発された住宅団地が数多く存在し、これらの住宅団地の多くは、入居開始から40年以上が経過し、建物の老朽化が進むとともに、同時期に大量に入居した世代が一斉に高齢化しています。この高齢化にどう取り組むか。  
自治会や民生委員が活躍する団地の取組をヒントに、ここでの活動のエッセンスを議論することで、深く課題を掘り下げ、敷衍化することを目指します。

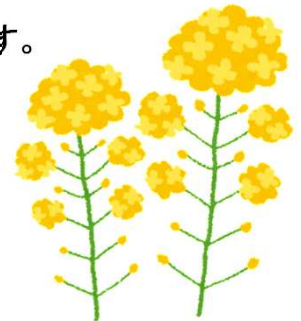
#### 【課題提起】

- ・ ソーシャルワークを活用したまちづくりとは。
- ・ 社会福祉士、ソーシャルワーカーの役割とは。
- ・ 住民に巻き込まれる生活支援コーディネーターとは。

#### 【取組の概要】

地域包括ケアの医療側の窓口として、在宅医療介護連携を推進する「在宅医療連携拠点 菜のはな」、人々が集う場所に研修医や看護師が出向き、住民と健康について学ぶ「暮らしの中にある保健室 菜のはな」、地域で活躍するインフォーマルサービスの担い手たち「コミュニティデザイナー」を育成、ネットワーク化する「しあわせすぎ」など、地域住民が主役になる地域包括ケアを実現。

「地域に散在する多様な資源を活用して、個人の生活的価値やあるいは複雑な生活問題に対応するように翻訳してケアを個別化していくための技術というものは、我々が知る限りソーシャルワークの技術しかありません。(中略)これを地域に落とすためにはどうするのかという教育を(住民に)併せてやっているということです。」(中野Dr談)



- |       |   |
|-------|---|
| ・日 程  | 平成29年9月22日(金) 13時30分～16時30分   |
| ・会 場  | さいたま新都心合同庁舎1号館2階講堂<br>埼玉県さいたま市中央区新都心1-1   |
| ・内 容  | 事 例: 公社住宅での支援<br>幸手団地の取組<br>対 談: 東埼玉総合病院 北葛北部医師会在宅医療連携拠点<br>菜のはな 室長 中野 智紀<br>昭和女子大学 教授 北本佳子<br>自治体職員等 |
| ・参加対象 | 自治体職員、一般、事業者、民生委員、大学関係者等  |
| ・参加費  | 無料  |
| ・定 員  | 500名程度  |
| ・応募方法 | 下記の送付先にFAXにて申込書をお送りください。<br>送付先(FAX): 048-601-0512【地域包括ケア推進課】   |



厚生労働省

関東信越厚生局

<http://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kantoshinetsu/>

## 第7回地域包括ケア応援セミナー応募用紙

### 【送付先】

関東信越厚生局地域包括ケア推進課

FAX:048-601-0512

※受付完了の連絡は致しませんのでご注意ください。

### 9/22開催地域包括ケア応援セミナー(第7回)参加希望

【締切:平成29年9月20日(水)17:00(厳守)】

標記セミナーの参加を希望します。

また、参加に当たり下記の事項を遵守いたします。

	一人目	二人目
氏名		
勤務先(自治体名)及び 所属・職名		
連絡先(メールアドレス)		
※ 次回の開催案内メール	希望する ・ 希望しない	希望する ・ 希望しない
連絡先(電話番号)		
連絡先(ファックス)		

### 記

- (1) 事務局の指定した場所以外に立ち入ることはできません。
- (2) アラーム付の時計、携帯電話等、音の出る機器については電源を切るか、音が鳴らないようマナーモードに設定してください。
- (3) 写真撮影、ビデオ撮影、録音をすることはできません。(あらかじめ申し込んだ場合は、セミナー冒頭の頭撮りに限って、写真撮影などをすることができます。)
- (4) 希望された方には関東信越厚生局が主催する次回以降のセミナーの開催案内をメールで送付します。メールアドレスを記入の上、次回の開催案内メール欄の「希望する」に○を付けてください。

以上